



薬剤部からのおはなし

## 薬と飲食物の飲み合わせについて ①



1つずつでは問題ない薬でも、薬と薬の飲み合わせ、または薬と食品(飲み物/嗜好品含む)の食べ合わせによっては、よくない影響が出る組み合わせがあります。

この影響を相互作用といい、注意して防がなくてはなりません。今回は、様々な飲食物と薬の飲み合わせについてお話しします。



## お酒(アルコール)と薬の飲み合わせ



アルコールは多くの薬との影響が知られており、薬との併用は避けてください。

### ・糖尿病薬(SU剤)(オイグルコン錠[一般名:グリベンクラミド]など)

この組み合わせでは糖尿病薬の作用が減弱する場合と増強する場合とがあり、高血糖、低血糖の心配があります。これらの薬を服用中は危険ですのでアルコールは控えましょう。

### ・血圧降下薬(アダラート錠[一般名:ニフェジピン]など)

ある種の血圧降下薬は、血管を拡げることで血圧を下げます。また、アルコールにも血管拡張作用があるため、作用が増強されることにより、過度の血圧降下が現れることがあります。併用は避けましょう。

### ・解熱鎮痛剤(ロキソニン錠[一般名:ロキソプロフェンナトリウム]など)

併用により胃出血を起こすおそれがあります。併用は避けましょう。

### ・睡眠薬(レンドルミン錠[一般名:プロチゾラム]など)

同時に服用することで記憶力障害(記憶がなくなる等)やフラツキなどの副作用の症状が強くなる場合があります。併用は避けましょう。

### ・セフェム系抗生物質(セフゾンカプセル[一般名:セフジニルカプセル]など)

アルコールの血管拡張作用により細菌感染が広がり症状が悪化したり、呼吸困難やけいれんといった副作用の出現の心配も出てきます。

# グレープフルーツジュースと薬の飲み合わせ

グレープフルーツに含まれるフラボノイド類と呼ばれる成分が薬の分解を妨害し、体内の薬の濃度が上昇することで作用が強くなり現れたり、副作用の症状が出現してしまう場合があります。以下の薬を服用中の方は注意してください。

- ・カルシウム拮抗薬(高血圧治療薬など)(アダラート錠[一般名:ニフェジピン]など)
- ・高脂血症治療薬(リピトール錠[一般名:アトルバスタチン]など)
- ・睡眠薬(ハルシオン錠[一般名:トリアゾラム]など)
- ・抗けいれん薬(テグレトール錠[一般名:カルバマゼピン]など)



「グレープフルーツジュース」の摂取は注意してください、とされているのは、100%ジュースなどでは何個ものグレープフルーツが絞られている可能性があり、よりその成分が多くなっていると考えられるためです。一方、みかんなど他の柑橘類では問題ないとされています。

# ビタミンK含有食品(納豆、クロレラ等)と薬の飲み合わせ

- ・血液凝固阻止剤(ワーファリン錠[一般名:ワルファリンカリウム])



ビタミンKはワルファリンの作用を弱めてしまいます。

ビタミンKが多く含まれる代表的な食べ物は納豆、クロレラなどです。これらを摂取すると、ワーファリン錠の作用が減弱し、血栓ができやすくなることが考えられます。ワーファリン錠を内服中の方はこれらの摂取は控えましょう。

また、緑黄色野菜(パセリ、ブロッコリーなど)にもビタミンKが含まれていますが、付け合わせ程度にとどめ、一度に大量摂取することは避けましょう。



薬はコップ1杯のお水とともに飲みましょう。

- ・水なしで飲むと...  
薬がのどや食道に引っかかり、食道炎や潰瘍を起こすこともあります。  
特にカプセルはくっつきやすいので注意が必要。
- ・水の量が少ないと...  
薬の吸収が低下したり、遅くなったりして、薬の効き目が悪くなることがあります。

## 【地域の皆様へ】

当院は地域と連携し救急患者を夜間、休日または深夜を含む24時間診療することのできる体制を整えております。担当医師は正面玄関掲示にてご確認下さい。